

和田べんってなんだ？

■ 第十五回目の協議会の概要

第15回協議会が10月5日(木)に開催されました。今回は地域の方々、横浜国大の教員学生、和田町の方々、横浜市環境創造局の方など合わせて約25名の参加がありました。今回の協議会では国大で限定販売されている「和田べん」について、次回のべっぴんマーケットについてなどより進んだ話し合いが行われました。このほかにも和田町をよりよくするためにたくさんのテーマがあげられ、毎度おなじみ白熱した協議会が繰り広げられました。

■ 和田べん徹底解剖！！

○和田べんプロジェクトとは？

和田町商店街のお店の和田町特製弁当を国大で販売し、学生に和田町の味を知ってもらうことで、学生が和田町に足を運ぶきっかけをつくり、和田町をいきいきさせよう！というプロジェクトで、今年で2年目を迎えます。

○きっかけ

昨年、国大の学生の発案により、その案を和田町に投げかけ、4店舗が協力してくださることになり、プロジェクトがスタートしました。

○仕組みの進化

初年度は、和田べんを大学生協さんに買い取ってもらい販売も委託していましたが、今年は和田べんプロジェクトチームとしてお店のかたが製作—搬入—販売等の一連の作業をすべて行う体制となりました。

○2年目を迎えて —今年度の活動—

今年4月から商店さんや大学との話し合いを経て、ついに10月10日から本格的に大学内での販売を開始しました。和田べんを作ってくださるのは、盛光堂・神戸屋・名護や・ひまわり亭と、多彩なお店が揃っています。4店舗から販売される計13種類ものおいしい弁当の売れ行きは好調で、毎日約100個の弁当が30分程で完売しています。

今年度からは、新たに和田町の情報誌を製作し、弁当に添付して販売しており、和田町への興味をさらに深めるPR活動にも力を入れています。また、宅配による販売もしています。

○和田べんの魅力とは

弁当の種類が豊富であり、またなんといっても和田べんは国大限定販売ということが最大の魅力です。弁当販売している店舗も本業では弁当販売をしていない店舗も、お店のみなさんが和田べんとして練りに練って考え生まれた特製の弁当なのです。

今年度は2月まで販売する予定です。多くの人に和田町の味を知ってもらいたいと思っています。国大に来られたら是非食べてみてください。



和田べんの販売風景です。

お弁当を販売する4店舗が交代して大学内の工学部棟で「和田べん」を販売しています。もちろん和田べんプロジェクトチームもお手伝いしていますよ(´^｀)



大学内での宣伝も大々的に行っています。

和田町緑化日記 (その4)

そろそろ秋も後半に突入です。これからどんどん寒くなっていきますね。和田橋の緑たちはこれから厳しい季節を迎えます。皆さん彼らを暖かく見守ってあげてください。